元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐　勉　　2021年01月18日　第1003号「週刊五十嵐レポート」

スイッチが入った！爬虫類脳

小さな会社は苦労が絶えない。業界によっては強い競争相手がいる。小さな会社は、常に苦戦する。小さな会社の社長が最も必要とされているのが、「願望」「意欲」「向上心」。これらがエネルギー源になって多くの壁を克服し成長していく。

「山口県宇部市から世界的なファッション企業が出ると誰が思うか。想像できないことが僕もできたんだから、あなたにもできます。挑戦心、リスクを取る心、勇気があればできるのに、それができないだけ。僕が唯一自慢できるのは、自分が思っていることを、失敗しようとも実行してきたことです」(日経ビジネス誌よりファーストリテイリング柳井正会長兼社長)。

最初から願望、意欲のある人は少ない。願望や意欲の弱い人の方が多い。大脳生理学によると願望や意欲は大脳の「爬虫類脳」にあると言われている(三つの脳:爬虫類脳、哺乳類脳、人間脳)。爬虫類脳には、言葉が届かないそうだ。そのため、意欲が高まる本を読んでも、意欲が高まる話を聞いても届かない。教育しても爬虫類脳には届かない。但し、意欲や熱意が脳に伝わる方法が一つある。それは「やり遂げた。成功した」という「強い感動」や「強い感情」を伴った体験をすると、脳に伝わり、意欲や熱意が強くなることが解ってきた。

これを聞いたある社長は、「腑に落ちた。何回言っても動かない人がある出来事からスイッチが入り、どんどん伸びた人がいた。爬虫類脳だからだったんだ」。

何年も業績は低迷をして、うだつが上がらない社長がいた。ひょんなことから小さな成功を収めた。それが自信となり、それが続くと確信になった。そこから猛然とヤル気にスイッチが入った。これも爬虫類脳。この社長は低迷していた時から経営戦略の勉強をしていた。そこで自社の特徴や強みを見つけ磨いてきた。そして結果がついてきた。

些細なこと、小さな成功で変わることがある。ユニクロも84年広島に一号店を出してから成長した。「これだ！」という体験するため、日々経営の研究を。

ちょっと気になる出来事

1月16日現在東京のコロナ感染状況は、感染者19,879人。うち病院入院者は3,058人（全体の15.4%）、宿泊施設療養者は859人（4.3%）、自宅療養者は8,431人（42.4%）、調整中は7,531人（37.9%）。

自宅療養と調整中を足すと、15,962人（80.3%）、東京の感染者の8割は自宅療養または自宅待機。新たな感染者は病院に入院できない。医療崩壊なのか。まてよ、東京の病院はそんなに少なかったかな。

1月16日付朝日新聞に、「病床民間に確保迫る」という記事。日本は世界的に見て、充実した病床数を誇り、「ベット大国」と言われているのに、各地で病床の逼迫が深刻。なせなのか。患者の受け入りに隔たりがある。公的病院では75%の病院が受け入れ、民間病院では17%しか受け入れていない。民間の病院が日本全体の約7割を占めている。

受け入れ病院は、公的病院（30%×75%＝22.5%）＋民間病院（70%×17%＝11.9%）＝日本全体病院の34.4%

なるほど、逼迫の理由、これで解けた。実際コロナに対処している病院は日本全体の1/3強。2/3弱の病院は関与していない。非常時における日本の問題点が浮き彫り。デジタル化ばかりではない。

拝んで人格は向上するか

人は、自分とかけはなれた特別な力をもった存在から学ぶことはできません。

ブッタは、私たちと同じ人間ですから、学ぶことができるのです。

いくらお地蔵さんを拝んでも、人格の向上はないのです。

「どうかお願いします」で終わってしまいます。

超越した存在である如来や仏さまから、功徳や恵みをいただいたとしても、人格向上にはなりません。

ブッタの生き方から学ぶ人は、人格が向上します。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校　毎週日曜日・水曜日　午前10時～12時
●「戦略社長塾東京」小岩校　土曜隔週(第2・第4)　午後2時～6時
●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校　開講中。
㈱五十嵐コンサルティングオフィス　〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703　Fax03-3659-7077　info@igarashireport.com